

令和2年2月吉日

関係者各位

福島大学環境放射能研究所

所長 塚田 祥文

(公 印 省 略)

第6回福島大学環境放射能研究所成果報告会開催のご案内

平素より福島大学環境放射能研究所の運営・研究へのご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

当研究所では、福島県内の環境中の放射能に関する研究成果について皆様にお伝えすべく、平成26年度より毎年報告会を開催しております。6回目となる今回は、シンポジウムテーマを“チェルノブイリから学ぶ福島環境”とし、テーマに沿った発表等を予定しております。ご多忙中のところ恐縮ではございますが、ぜひご来場くださいますようお願い申し上げます。

また、本報告会開催の周知についてご協力を賜りたく、チラシとポスターを同封いたしました。ご関係者様へのご配布ならびに掲示についてご配慮いただけますようお願い申し上げます。

記

日 時：令和2年3月10日（火）口頭発表 13:00～17:00 （12:30 受付）
令和2年3月11日（水）ポスター発表 9:00～12:00 （9:00 受付）
シンポジウム 13:00～16:30 （12:30 受付）

場 所：コラッセふくしま 4階多目的ホール、3階企画展示室

内 容：同封のチラシをご覧ください

※会場設営のため、参加ご希望の方は事前申込にご協力ください。

(環境放射能研究所事務室

電話 024-504-2114)



福島大学環境放射能研究所

第6回 成果報告会

6th Fukushima University IER Annual Symposium

2020
3/10-11
火 水

会場 / コラッセふくしま
4F多目的ルーム・3F企画展示室

お問合せ 福島大学環境放射能研究所

TEL 024-504-2114 E-mail ier@adb.fukushima-u.ac.jp

参加費無料

3/10 火 13:00~17:00

口頭発表(英語)

9:00~12:00

ポスター発表

3/11 水

13:00~16:30

シンポジウム

シンポジウム

市民の皆様に向け、分かりやすくお話しします。

チェルノブイリから学ぶ 福島環境

Fukushima Environment
from Chernobyl Perspective

3/11 水
13:00~16:30

シンポジウムプログラム



チェルノブイリと福島との環境放射能分野の
共同研究

福島大学共生システム理工学類 教授 難波謙二



チェルノブイリと福島の森林:
放射性セシウムの循環移動

福島大学環境放射能研究所 特任教授 ヨシエンコ・ヴァシル



チェルノブイリ周辺地域における小児甲状腺
がんの特徴、および福島との相違について

長崎大学 教授 高村 昇



チェルノブイリと福島における河川網を介した
放射性物資の動態

福島大学環境放射能研究所 プロジェクト研究員 五十嵐康記



福島とチェルノブイリ:土と水の中の放射性
核種の動き、似ていることと違うこと

福島大学環境放射能研究所 教授 コノブリョフ・アレクセイ



チェルノブイリと福島第一原発事故後の
海洋環境中の放射性セシウム濃度の変遷

福島大学環境放射能研究所 特任准教授 高田兵衛

第6回福島大学環境放射能研究所成果報告会

本成果報告会は、2011年の東電福島第一原子力発電所の事故後、2013年に設立された福島大学環境放射能研究所の研究成果について、学外(地域の方や放射能研究の専門家等)へ向けて報告し、参加者との意見交換を通して研究成果が地域還元され、今後の研究発展につながるよう開催するものです。

2020

3/10^火-11^水

会場 コラッセふくしま
4F多目的ルーム・3F企画展示室
福島県福島市三河南町1番20号

3/10 [火] 口頭発表(英語)

時間 13:00-17:00 (受付12:30~)
会場 コラッセふくしま4F 多目的ホール
対象 専門家 ※どなたでも聴講いただけます。
使用言語 英語 ※通訳なし
プログラム 詳細はHPにて随時発表

3/11 [水] ポスター発表

時間 9:00-12:00 (受付9:00~)
会場 コラッセふくしま3F 企画展示室
対象 どなたでもご参加可能
※発表者と直接お話しいただけます。
使用言語 英語/日本語(発表者による)
プログラム 詳細はHPにて随時発表

3/11 [水] シンポジウム

時間 13:00-16:30 (受付12:30~)
会場 コラッセふくしま4F 多目的ホール
対象 どなたでも聴講いただけます。
使用言語 日本語(英語は逐次通訳付き)
プログラム 下記参照

シンポジウム (市民の皆様に向け、分かりやすくお話しします。)

チェルノブイリから学ぶ福島環境

Fukushima Environment
from Chernobyl
Perspective

これまでの調査研究を基に、チェルノブイリから見えてきた福島環境の現状と未来について科学的な視点からお話しします。

プログラム

13:00-13:05	開会挨拶	中井勝己	福島大学 学長
13:05-13:10	概要説明	塚田祥文	福島大学環境放射能研究所 所長/教授
13:10-13:35	チェルノブイリと福島との環境放射能分野の共同研究	難波謙二	福島大学共生システム理工学類 教授/ 環境放射能研究所 兼務教員
13:35-14:00	チェルノブイリ周辺地域における小児甲状腺がんの特徴、および福島との相違について	高村 昇	長崎大学 教授/福島大学環境放射能研究所 副所長
14:00-14:35	福島とチェルノブイリ：土と水の中の放射性核種の動き、似ていることと違うこと	コノプリョフ・アレクセイ	福島大学環境放射能研究所 教授
14:35-14:45	休憩		
14:45-15:20	チェルノブイリと福島の森林：放射性セシウムの循環移動	ヨシエンコ・ヴァシル	福島大学環境放射能研究所 特任教授
15:20-15:40	チェルノブイリと福島における河川網を介した放射性物質の動態	五十嵐康記	福島大学環境放射能研究所 プロジェクト研究員
15:40-16:00	チェルノブイリと福島第一原発事故後の海洋環境中の放射性セシウム濃度の変遷	高田兵衛	福島大学環境放射能研究所 特任准教授
16:00-16:25	総合討論		
16:25-16:30	閉会挨拶	高橋隆行	福島大学共生システム理工学類 教授/ 環境放射能研究所 副所長

お問合せ

福島大学環境放射能研究所

TEL 024-504-2114 FAX 024-503-2921

E-mail ier@adb.fukushima-u.ac.jp

https://www.ier-f.com/

IER成果報告会

検索

事前参加申込みは特設ページからお願いします。



【参加申込書】第6回福島大学環境放射能研究所成果報告会

※インターネット環境がない場合は、FAXにてお申し込みください。

ふりがな			
氏名			
住所	〒		
所属先			
参加希望日	<input type="checkbox"/> 3/10 口頭発表(英語) <input type="checkbox"/> 3/11 ポスター発表 <input type="checkbox"/> 3/11 シンポジウム (複数選択可能)		
連絡先	電話	FAX	携帯
E-mail	次回報告会案内について		<input type="checkbox"/> 要 <input type="checkbox"/> 不要